

延安時期の雑誌『解放』総目録と解題(1)

著者名(日)	井上 久士
雑誌名	比較法文化 : 駿河台大学比較法研究所紀要
号	22
ページ	73-90
発行年	2016-03
URL	http://doi.org/10.15004/00001521

延安時期の雑誌『解放』総目録と解題(1)

井上久士

『解放』は抗日戦争の前半期に陝西省延安で出版された中国共産党中央委員会発行の公開雑誌である。創刊号は1937年4月24日、終刊号は1941年8月31日であった。通巻で134期までが発行された。創刊当初は週刊であり、誌名も『解放週刊』であったが、1938年1月11日発行の第28期からは単に『解放』となり、発行元も解放週刊社から解放社に変更された。『解放週刊』時期には、第1巻第1期のように巻数がふつであるが、『解放』になって以後は、通しで何期という表記になっている。週刊から不定期刊となった『解放』の発行頻度は、およそ旬刊か半月刊に近いものであった。

『解放』創刊期の総編輯（編集の責任者）は、中央書記処書記の張聞天（洛甫）であり、解放社は事実上中共中央宣伝部の一部門であったといわれる⁽¹⁾。張聞天は廃刊になるまで編集の責任者であった。したがって『解放』には張聞天のほかにも毛沢東や王明、周恩来など共産党最高幹部がしばしば執筆している。

『解放』は、抗日戦争時期の中国共産党史はもちろんのこと、中国現代政治史や日中関係史の研究にとって基本的な文献のひとつである。そのため中国研究においては比較的早い時期から研究者に注目されてきた。日本では徳田教之氏が1971年1月発行の『アジア研究』第17巻第3・4合併号に、「『解放』雑誌内容目録」を発表されている。これは日本ではじめて『解放』の記事目録を公表したもので、当時筆者も大いに刺激を受けた記憶がある。もちろん現在でも参考になる。ただ遺憾なのは当時の研究環境の制約で、徳田氏作成の目録に掲載されているのは、134期

のうちの95冊分である。その後アジア経済研究所から出版された藤田正典編『中国共産党 新聞雑誌研究』（1976年刊行）で他雑誌の広告などから少し補足を行っているが、基本は同じである。

徳田氏が利用したのはスタンフォード大学フーバー研究所、東洋文庫、日本国際問題研究所所蔵のマイクロフィルム、台北の司法行政部調査局図書館（当時）である。中国は文化大革命時期で、自由に行くことや資料をとりよせることができなかつたからやむを得ないことであつた。80年代以後中国が変化し、共産党史関係の資料も次第に見ることができるようになった。研究上の制約がなくなつたわけではないが、格段に公開度が高まつたことは事実である。

本稿で紹介するのは、『解放』の総目録である。分量が多いので、今回は解放週刊社時代とし、それ以後は本誌次号にまわすことにする。底本は1966年の人民出版社の影印版である。

なお『解放』に掲載された論文は、すでに日本語に翻訳されているものがいくつかあるので、読者諸氏の参考のために注記を施した。

- (1) 王広宇「『解放』(1937.4～1941.8)」、方克主編『中共中央党刊史稿』上巻、紅旗出版社、1999年、371頁。

創刊号（1937年4月24日）

時事短評

上海愛國領袖被起訴了！	烈	1頁
日本当前的政潮	志	1-2頁
關於西班牙的戰局	志	2-3頁
迎接對日直接抗戰偉大時期的到來（1937年4月11日）	洛甫	4-9頁
備戰政策下的佐藤外交	亮萍	9-11頁
肅清托洛茨基主義一日寇侵略的別動隊	高烈	11-14頁
日本的議會解散和其政治趨勢（1937年4月15日）	思錦	14-15頁
為德國人民陣線的号召（翻譯）	梅	14-17頁
鉄蹄下的東北（通訊）	關外徵夫	16-19頁
中國共產黨中央委員會致國民黨三中全会通電（1937年2月10日） ①		19-20頁
中國共產黨中央委員會為沈章諸氏被起訴宣言		20-22頁
一顆沒有出鐘的槍彈（文藝）（1937年4月14日）	丁玲	20-24頁

第1卷第2期（1937年5月1日）

時事短評

五一感言	冰	1-2頁
關於廢除領事裁判權	志	2頁
李王匪偽又蠢蠢欲動	柳	2-3頁
殷逆汝耕的宣言	平	3頁
中國抗日民族統一戰線在目前階段的任務 （4月10日在延安共產黨活動分子會報告提綱） ①	毛沢東	4-8頁
我們對修改國民大會法規的意見 ①	周恩來	9-11頁

我們所望於北方青年者！(4月15日)	凱豐	11-16頁
論西班牙戰爭(4月20日)	朱德	16-19頁
這難道不明白嗎(斯大林論阿富汗獨立鬭爭的進步性)		19頁
告西班牙全体人民与一切尊重和平、進步与自由的人們 ——西班牙共產党宣言(翻譯, 1937年1月共產國際月刊第1号)		20-23頁
搶橋——結成一個心(文藝)	莫休	24頁

第1卷第3期(1937年5月11日)

時事短評

評国民大会法規之修改	烈	1-2頁
四川問題	凱	2頁
東京的慌亂	豐	2-3頁
日本總選舉	柳	4頁
我們對於民族統一綱領的意見(5月1日)	洛甫	5-6頁
斥葉青張滌非任一黎学稼諸托洛斯基派(五一前夜)	亮平	7-15頁
關於中日經濟提携	如心	15-18頁
工人鬭爭的現階段	齊華	19-22頁
文藝在蘇区(通訊)(1935年4月15日)	丁玲	23-24頁
搶橋——結成一個心(文藝)(續完)(1937年4月20日)	莫休	25-27頁
写什麼(文藝)(五一深夜)	成仿吾	27-28頁

第1卷第4期(1937年5月24日)

時事短評

時局的明朗化	思	1-2頁
集中軍訓	烈	2頁

關於賑災	華	2-3頁
西班牙人民！武装同志們：（1937年5月15日）①	毛沢東	3頁
論党的工作缺点和消滅托派及其他两面派分子的辦法 （1937年3月3日在聯共中央會議上的報告）	斯大林	4-12頁
論国民大会的準備与任務（5月7日）	凱豐	12-15頁
紅軍在統一戰線中	楊尚昆	15-17頁
為争取千百万群眾進入抗日民族統一戰線而闘争 （在蘇区党代表大会上關於政治問題的結論）①	毛沢東	17-20頁
意大利共產党中央委員會的宣言		20頁
一年來北平學生運動的回顧（通訊）	非白	21-23頁
老革命碰着新問題（文藝）（1937年5月20日）	奚如	24-27頁

第1卷第5期（1937年5月31日）

時事短評

綏東告警！華北危急！	博	1-2頁
擊破右派「对統一的攻撃」	烈	2頁
英日將重開談判	凱	2-4頁
最近的中英關係	豐	4頁
在聯共中央全會上的結論 （1937年3月5日，重訊自德文版國際通訊）	斯大林（徐冰訊）	5-10頁
由蘇維埃到民主共和制度 ①	林伯渠	11-14頁
怎樣進行暑期工作？	徐冰	15-17頁
總選舉後的日本	大年	18-21頁
法国共產党的成功（訊自共產國際2月号）	加興	21-25頁
統一戰線（木刻）	坦克	26頁
東村事件（文藝）	丁玲	26-28頁

第1卷第6期 (1937年6月14日)

時事短評

中央考察團到延安	志	1-2頁
林銑滄蛋、近衛上台 (6月3日)	柳	2頁
“事件”和中国	華	3頁
卍字魔手在西班牙	冰	3-4頁
學生運動應該統一起來了!	周	4-5頁
論中華民國底憲法	張國燾	6-10頁
我們對於國民經濟建設運動的意見 (6月3日)	黎平	11-14頁
共產主義與三民主義	董必武	14-17頁
人民陣線運動在日本 (訊自「今日的中国」1937年4月号)	田端文雄 (黃華訊)	17-20頁
布哈林李可夫反列寧反黨的鬭爭		20-24頁
朱德同志 (木刻)	坦克	25頁
東村事件 (文藝)	丁玲	25-26頁

第1卷第7期 (1937年6月22日)

時事短評

楊立奎、陶希聖、吳葆三等被起訴	黎	1-2頁
近衛登台以後的日本政局 (6月12日)	思	2-3頁
民衆的生活	柳	3-4頁
西班牙問題的周圍	華	4頁
愛國犯	成仿吾	5頁
國內時事雜論 (6月13日)	博古	6-10頁
寄語北方青年 (6月10日)	凱豐	11-14頁

物價飛漲与工人生活難（6月5日）	齊華 15-18頁
德義軸心——世界戰爭的洪炉	徐冰 18-21頁
德国人民陣線的活躍 （訳自「新群衆」5月4日）	敏寸堡（黃華訳） 21-24頁
東村事件（文藝）	丁玲 25-26頁

第1卷第8期（1937年6月28日）

時事短評

政治犯的呼吁和我們的責任	志 1頁
關於蘇州愛國審判	承 1-2頁
什麼是再認識	樺 2-3頁
反对法西斯走狗 托布派的陰謀	平 3頁
關於十年来的中国共產党（6月20日）	洛甫 4-10頁
災荒下的中国（6月20日）	国淋 11-16頁
由軍部談到近衛内閣	承志 17-20頁
論英国的退讓政策及其結果（訳自真理報）	恩勃爾（權訳） 21-23頁
林祖涵像（木刻）	坦克 23頁
戲劇運動在陝北（通訊）（6月12日）	雷鉄鳴 24-26頁
東村事件（文藝）	丁玲 27-28頁

第1卷第9期（1937年7月7日）

時事短評

綏東緊張与察北民衆起義	林 1頁
比爾波的陷落	牧 1-2頁
肅清日寇走狗——托派	冰 2-3頁
川越說明了什麼？	樺 3-4頁

日本特務機關的活動	志	4 頁
國際無產階級底統一乃是目前時局底最高使命	季米特洛夫	5-9 頁
全世界無產階級和被壓迫的民族團結起來 (木刻)	坦克	9 頁
答復若干反對民主運動者的駁難	黎平	10-16 頁
兩個孽畜在咆哮 (木刻)	李力	16 頁
論資本主義的包圍與托爾斯基主義的後備軍 (重訊自國際通訊)	馬努伊爾斯基 (徐冰訊)	17-22 頁
日寇漢奸統治下的冀東人民 (冀東通訊) (6月25日)	鹿鳴	23-27 頁
東村事件 (續完) (文藝)	丁玲	28-30 頁

第 1 卷第10期 (1937年 7 月12日) (西班牙專号)

中国共產党為日軍進攻盧溝橋通電 (7月8日) ① ②		
	中国共產党中央委員會	1 頁
七月八日紅軍將領為日寇進攻華北致蔣委員長電 ①		2 頁
七月八日紅軍將領為日寇進攻華北致宋哲元等電 ①		2 頁
時事短評		
西班牙戰爭的一周年	平	1-2 頁
為平文化界『息爭』慶幸	凱	2-3 頁
斥李頓爵士的謬論	冰	3-4 頁
南京對川越的反響	樺	4 頁
到勝利的途程		
——為軍事上一般的檢討西班牙民主與民族獨立戰爭而作	李白鷗	5-18 頁
西班牙革命的社會經濟背景	麥凱德	19-22 頁
西班牙革命鬭爭與中国抗日運動 (7月10日)	黎平	23-30 頁
西班牙人民反法西斯蒂武裝鬭爭的一周年	如心	31-35 頁
在瑪德里 (木刻)	文韜	34 頁
血債是要償還的 (木刻)	坦克	35 頁

在西班牙的國際縱隊（報告文学） 黃華 36-37頁

第1卷第11期（1937年7月19日）

時事短評

盧溝橋的抗戰	鐵	1頁
所謂蘇州『審判』的『更新』	志	2頁
本刊的被扣	華	2-3頁
堪察資事件	牧	3-4頁
廬山『茗叙』	植	4頁
堅決保衛平津華北！堅決抗戰到底！（7月13日）	矢鍼	5-7頁
我們的弟兄這樣鬪爭着		7頁
日本共產党中央委員会告日本工農兵宣言（1931年9月19日）		
日本共產党中央委員会告日本勞動群眾書（1935年2月5日）		
抗日民族統一戰線階段上的農村革命政綱（7月8日） ①		
	凱豐	8-12頁
一封公開的信（7月16日）	劉炳生	13-16頁
論蘇聯的軍事間諜案	徐冰	17-18頁
河海浮尸与徵工出關	齊華	19-22頁
資本主義國家之經濟現狀	孟特爾松（權訊）	23-28頁
血債是要償還的（木刻）	坦克	35頁
在西班牙的國際縱隊（報告文学）	黃華	36-37頁

第1卷第12期（1937年7月26日）

紅軍將領慶賀平津勝利通電（7月29日）		1頁
時評		
八一感言（7月30日）	冰	1-3頁

唯有堅決抗戰到底才是中国的出路！ (7月29日)	豐	4頁
廊房抗戰的發動 (7月29日)	鉄	4-5頁
最二十九軍 (7月29日)	平	5-6頁
論反对日本帝国主义進攻的方針辦法与前途 (7月23日) ①	毛沢東	7-9頁
实行对日抗戰 (7月15日) ①	朱德	10-14頁
組織广大的群眾到抗日戰線上來 (7月8日)	振農	15-17頁
日本工人与農民運動的高漲 (試聞訊、1937年6月2日『真理報』)	金子	18-22頁
資本主義国家之經濟現狀 (續)	孟特爾松 (權訊)	23-26頁
我們希望二十九軍堅決固守陣地、不要讓日寇侵佔寸土！ (木刻)	文韜	14頁

第1卷第13期 (1937年8月9日)

時事短評

反值日本飛機的橫行	思	1頁
沈鈞儒諸氏的出獄	志	1-2頁
对近衛內閣應有的再認識	強	2-3頁
英国對於西班牙的折衷方案	牧	3-4頁
論平津失守後的形勢 (8月2日)	洛甫	5-7頁
日本的進攻与中国所應取的对外政策 (7月26日)	黎平	8-11頁
法国新內閣之前途	權	12-13頁
戰鬥中的東北抗日聯軍 (通訊) ①	国	14-15頁
白楊樹下 (文藝)	白浪	17-20頁
華北的怒吼 (木刻)	濤	13頁
理論研究增刊 (第1号)		
論聯共党史課本	斯大林	增刊1-2頁
怎樣研究聯共党史		增刊2-3頁

聯共党史研究提綱

增刊3-8頁

第1卷第14期（1937年8月16日）

時事短評

悼抗日戰爭中的陣亡將士	冰	1-2頁
反對危害和平統一的陰謀 ①	凱豐	2-3頁
南口的抗戰	鉄	3-4頁
動員起來、組織起來！爭取全民族抗戰的勝利！	農	4-5頁
日本特務機關滾開去！	權	5-6頁
川越的活動	志	6頁
怎樣爭取全國抗戰的勝利	李富春	7-9頁
中國抗戰與英國（8月10日）	黎百強	10-12頁
解放了的勞動	國林	13-15頁
再到瓦倫西亞	冰	16-17頁
冀南通訊（通信）	戴軍	18-21頁
土地在笑着（文藝）	奚如	22-26頁

第1卷第15期（1937年9月6日）

第八路軍總指揮朱德副總指揮彭德懷就職通電（8月25日） ① ② 1頁

時事短評

南口的失守	鉄	1-2頁
擁護中蘇互不侵犯條約	農	2-3頁
怎樣爭取淞滬抗戰的勝利	木	3頁
發揮民衆的力量—保障抗戰的勝利—	仲	4頁
許格生的被狙擊	冰	4-5頁
白銀輸出的危險	權	5頁

中共中央關於目前形勢与党的任務 (8月15日) ①	6頁
為動員一切力量爭取抗戰勝利而鬪爭 (目前形勢与任務的宣伝鼓動提綱) (8月15日) ①	7-8頁
一切為着爭取抗日戰爭的勝利 (8月30日)	凱豐 9-12頁
爭取抗戰偉大勝利反对民族失敗主義	黎平 13-17頁
日寇大規模侵犯中国的近因及其前途	黎百強 18-21頁
土地在笑着 (續) (文藝)	奚如 22-24頁
中国共產党抗日救国十大綱領一為動員一切力量爭取抗戰勝利而鬪爭	裏表紙

第1卷第16期 (1937年9月13日)

時評

九一八第六周年	木 1-2頁
廢除危害民国治罪法的感想	志 2頁
美国銀行貸款日本与美国海員援助中国	金沙 2-3頁
日本六十三億円大重担的周圍	華 3頁
許格生的被狙擊	冰 4-5頁
白銀輸出的危險	權 5頁
論全面的全民族抗戰 (9月8日)	凱豐 4-6頁
戰時財政經濟問題 (9月8日)	黎百強 7-9頁
抗戰中的青年学生 (9月10日)	徐冰 10-12頁
上前線去 (速写)	定一 13-14頁
中国共產党抗日救国十大綱領一為動員一切力量爭取抗戰勝利而鬪爭	裏表紙

第1巻第17期（1937年9月25日）

時評

致慰西凡勒克号的英国海員	林	1-2頁
略論地中海協定	冰	2頁
論抗日民族革命戦争の持久性（「九一八」六周年紀念）①		
	洛甫	2-6頁
全国人民武装起来！	李富春	7-9頁
出動中之紅軍	王首道	10頁
理論研究増刊（第2号）		
聯共党史研究提綱（続）		11-19頁
中国共産党抗日救国十大綱領一為動員一切力量争取抗戰勝利而闘争		
		裏表紙

第1巻第18期（1937年10月2日）

中国共産党為公布国共合作宣言（特載）①②		
	中国共産党中央委員会	1頁
時評		
慶祝第八路軍勝利		2-3頁
應該優待俘虜	林	3頁
風起雲湧の日本工農反戰運動	強	4頁
国共両党統一戦線成立後中国革命的迫切任務（9月29日）①		
	毛沢東	5-8頁
怎樣实施義務兵役制	承志	9-12頁
各方面致八路軍賀電		9-12頁
西班牙抗戰の新階段（9月23日）	華金	13-17頁

中国共產党抗日救国十大綱領—為動員一切力量争取抗戰勝利而鬪争

裏表紙

第 1 卷第19期 (1937年10月 9 日)

中国共產党告日本陸海空軍士兵宣言 (9月25日) ①	1 頁
中国紅軍告日本士兵書 (9月25日) ①	2 頁
日本共產党給在華日本士兵諸君的号召 (8月15日)	3 頁
对抗戰軍隊政治工作的商榷	李富春 4-6 頁
戰時政治工作概要	莫文驊 7-10頁
把抗戰事業教育千千万万民衆—關於抗戰中的教育政策	黎兵 11-15頁
日本近状 (東京通訊) (8月23日蘇聯消息報)	11-15頁
地中海—又一個新的火藥庫	徐冰 16-18頁

第 1 卷第20期 (1937年10月16日)

時評

蔣介石氏在双十節的講詞	飛 1-2 頁
羅斯福的演說	金沙 2 頁
法西斯主義就是戰爭 (『國際通訊』第33号)	季米特洛夫 3-5 頁
肅清漢奸—一個当前的迫切任務	徐冰 5-10頁
抗戰軍隊中的連隊政治工作	亞樓 11-15頁
青年統一戰線底任務—共產主義青年國際第六次世界代表大会根拋米哈里·沃里福同志報告所通過的決議案 (轉載)	16-20頁
各方对第八路軍抗戰勝利賀電 (二)	6-10頁
第八路軍捷報	13-15頁

第1卷第21期（1937年10月16日）

時評

抗議解放週刊の査禁	冰	1-2頁
關於九国公約會議	志	2-3頁
論各国工会的一致決議抵制日貨	強	3頁
論目前救亡運動中的幾個迫切問題（10月19日）	凱豐	4-8頁
華北游擊戰爭的展開	若飛	9-12頁
抗日軍隊与人民	際春	13-15頁
日本共產党反戰綱領		14頁
辺区各郷各区民政府選舉運動的總結（通訊）	里夫	16-18頁
各方致八路軍賀電（続）		9-12頁

第1卷第22期（1937年11月6日）

時評

反对日本新的陰謀	黎	1頁
論上海失陷	林	1-2頁
轉變仲の時局（10月28日）	洛甫	3-5頁
召開臨時国民大会轉變抗戰的局勢（11月1日）	黎平	6-8頁
抗戰以来国際形勢的檢討（10月28日）	李凡夫	9-13頁
抗戰和当前的工会運動	志華	14-17頁
少共国際關於修改本国際綱領和擬定本国際新章程的決議案		16頁
今日的朱彭	中央社記者王少桐	18-20頁
辺区各郷各区民政府選舉運動的總結（続）	里夫	21-22頁
十月份下半月八路軍捷報		9-11頁
各方致八路軍賀電（続）		12-13頁

第 1 卷第23期 (1937年11月13日)

時評

反對漢奸的「和平」運動	凱	1-2頁
慶祝十月革命廿週年紀念	黎	2頁
日德意的「三國防共協定」	強	2頁
毛澤東與英國記者貝特蘭之談話 (10月25日)		3-9頁
現階段的文化運動	從賢	10-12頁
各國共產黨對中國抗戰的聲援 (轉載)		
(訊自8月31日英國共產黨機關報『工人日報』)		13-14頁
中國的勝利大有助於世界和平		
(美國共產黨機關報『工人日報』7月29日社論)		15-16頁
法國共產黨機關報『人道報』社論 (轉載自巴黎『救國時報』第121期)		16-17頁
晉北視察記 (轉載)	鑑伯	13-16頁
第八路軍是怎樣戰鬪着的 (前線通訊)	傅鍾	18-20頁
活躍的八路軍！捷報		17頁

第 1 卷第24期 (1937年11月20日)

蔣介石先生與外國記者之談話 (專載)		1頁
時評		
再論日德意防共協定	強	2頁
陳獨秀先生到何處去	冰	2-3頁
本報對西安分銷處被封內幕及交涉經過聲明	編者	3-4頁
全國輿論界對抗戰民主與民衆運動的言論 (11月10日)	凱豐	5-10頁
改造軍隊和武裝民衆問題的商榷	史達	11-14頁

十年來新文化運動的檢討	李初黎 15-17頁
關於國民黨陝西省黨部嚴重違反三民主義的錯誤（11月10日）	黎平 18-22頁
西安通訊	莫休 18-22頁
中共陝西省委與國民黨陝西省黨部爭論的真象	23頁
中國共產黨陝西省委致國民黨陝西省黨部一封公開的信（雙十節）	24-25頁
中共陝西省委第一次談話（10月23日）	25-26頁
中共陝西省委第二次談話（11月1日）	26-28頁
捷報	17頁

第1卷第25期（1937年11月27日）

國民政府宣言（專載）	1頁
時評	
國民政府遷都感言	冰 2頁
日寇分裂中國的伎倆	史 3-4頁
反對「德意」調解	強 4頁
把山西成為北方游擊戰爭的戰略支點	
——太原陷落後的隨筆之——（11月15日）	洛甫 5-9頁
爭取持久抗戰勝利的先決問題	彭德懷 10-15頁
平型關戰鬥的經驗（10月17日）	林彪 16-17頁
我們的群眾工作（山西五台通訊）（10月28日）	洪水 16-20頁
戰場斷片——平型關戰鬥前後的日記——	蕭向榮 18-26頁
捷！捷！捷！八路軍再勝利	23頁
蘇聯將挺身而出援助中國	26頁
西北線上	柳林 27-32頁

第1卷第26期 (1937年12月4日)

時評

評汪精衛先生最近的言論	黎	1-2頁
日寇對上海公共租界和法租界的示威	馬	2-3頁
關謠兩則		3頁
日寇侵略的新階段與中國人民鬥爭的新時期 (轉載自巴黎『救國時報』九一八特刊)	王明	4-14頁
關於特區群眾工作——答C君的幾個問題——	羅邁	15-20頁
特區抗戰動員片斷	工作經驗介紹	21-30頁

第1卷第27期 (1937年12月11日)

蔣委員長命令 (專載)		1頁
南方三年游擊戰爭經驗對於當前抗戰的教訓	項英	2-4頁
社會主義國家的勝利總結	馬特比夫	5-7頁
關於傷兵工作 (11月24日)	白里	8-12頁
對傷兵的兩種態度		8-12頁
集體農場—富裕生活的基礎 (訊自蘇聯消息報)	郁拉斯基	13-15頁
一九三七年上半年的資本主義經濟 (平凡節訊自俄文『世界經濟與世界政治』第8期)	瓦爾加	16-20頁

邦訳についての注

- ①日本國際問題研究所中國部會編『中國共產黨史資料集』第8卷、勁草書房、1974年。
- ②滿鐵調查部『抗日民族統一戰線運動史—國共合作に關する政治資料』1939年。